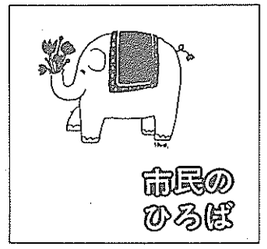

原稿募集

広報なんこくでは、「市民の声」など、市政に対する建設的なご意見、女性のほのぼのとした随想「つくし」欄などへあなたの参加をおまちしています。中学、高校生の詩や作文もどうぞ。

ご家庭で話し合って答えてください。答えは今月号の広報に出ています。

■**もんだい**

三月定例市議会は三月〇〇日開会、小笠原市長から施政方針演説があり、財政再建のために、市民、議会、市の三者一体の協力を呼びかけました。

■**しめきり**・四月十五日（木）

■**おくり先**

〒783　南国市大埇・南国市役所内　広報委員会　親子クイズ係

■**答えのハガキには必ずお歳・職業を書いてください。**

広報や行政に関するご意見・マンガ・詩・地区の話題など、どしどしおよせください。マンガは黒のスミかインキで書いてください。

■**しょうひん**

特賞二千円二人　残念賞（記念品）十人

特賞に

中村隆夫くん（下野田）

大町孝志くん（物　部）

第五十四回正解者発表

■**こたえ**

サイレン・放送制御装置でした。

■**特賞・二千円二人**

中村隆夫（下野田）

大町孝志（物　部）

■**残念賞（記念品）十人**

門田幸俊（植田）野村美知子（下野田）仁尾益久（上倉）山崎由佳（物部）西川尚子（領石）前田康宏（野田口）中川遵（大埇）門脇千春（東崎）岡崎公子（定林寺）島崎秀典（大埇）

おめでとうございました。これからもどしどしご応募ください。

なんでこうなるの！

溝渕徳馬（片山・七十六歳）

飛行機といえば、墜落を連想したは昔のことで、今では公害と訴訟が連想される時代に変った。

中内知事は当選直後中央に飛ばれて空港拡張推進を約束して帰られ、小笠原市長もまた、「原則的」とすこぶるニュアンスに富んだ表現を用いて拡張賛成を示唆されたが、ご両所とも、ただ一度も地区市民には相談もなければ挨拶もない。何処かほかに適当な土地が見つかったかも知れないと私は受けとめております。

知事・市長、ご両所とも空港拡張を高く評価されて県市の発展のため、といわれるが、県・市の発展を大型飛行機に期待するようでは、それは政治を甘く見過ぎておりはしないかと私は心配します。もし、小型を大型に変えて目的が達せられるとお考えであれば、即刻おやりになるがよい。なにも、反対する私たちにかまうことはない。私の見た所では、現在の周辺地区以外は、あげて拡張に賛成のようであり、そこへ行って思う存分おやりになるがよろしかろう。

ただし、私たちは人道上の見地から、それに無責任な賛成だけは断じてしないことだけは、ご承知おき願いたい。

田中前首相が、日の丸の旗の波に迎えられて後免の青果市場に現れ、空港拡張の必要性を力強く演説されたが、その時、空港拡張は日本列島改造の一つであるとも説かれた、それは私の記憶にもまだ残っている。その後、田中さんも総理を廃業し、メイ著日本列島改造論も姿を消すようになったが、高知空港拡張問題だけは、のんべんだらりと続いている。そこへ今度のロッキード問題、それにも田中前首相が関係あるとかないとか噂がどんどん広がっている。

何職によらず、政治に関与する人たちは、任期の間しか責任はなく、言いたい放題のことを言い、使いたいだけ金を使って、それですまされます。そうした無責任な支出が、今度のような財政危機と無関係であるとは、私には絶対に考えられません。私たちはロッキード問題に目を奪われているようでは足元が危い。

春近しという季節でありながら、経済台風と政治の暗雲から、私たちは果していつ解放されるであろう。しかし、何も知らずに無邪気に遊ぶ子どもたち、さらにその子孫の将来を考えた場合、この拡張反対運動に結ばれた手と手には、さらに、さらに力を加え、輪を大きくして行かねばならない責任を痛感します。

「切ればいいんだな」

☆白木谷小学校　白木谷幼稚園☆

白木谷は、孟宗竹の生い茂る竹の子の里で、かぐや姫のような心のきれいな人ばかりの別天地です。

私たちの学校は、幼稚園と小学校が一緒に生活している南国市内でただ一つの珍らしい存在です。新しくこられた先生方が、こんな楽しい学校は始めてだと毎年ほめてくださいます。先生方が九名、園児が十六名、児童四十五名です。校舎は、小学校は鉄骨造りで四十五年、幼稚園は木造で四十六年にできた新しい学校です。学校の先生方とPTAや子どもがみんな仲よく楽しい毎日を送っている平和な学校です。

つぎにみなさんの学校とかわっているところをお知らせします。

(1)校長先生が園長先生を兼ねています。

公民館活動はどうあるべきか (1)

山崎忠雄（稲吉公民館長）

市立でない地区の公民館の活動はどのようにやればよいのだろう。本年一月、突然に部落公民館長に選任せられた私の直面した基本的な問題であります。

私なりに考えて、到達しつつある結論と、実際にやってみたいと構想を練りつつあるいくつかの夢を公開して広く皆さまの批判を求め、路線を誤らずに効果のあがる運営をすすめたいという考えから、大胆に投稿してみることにしました。

部落公民館は、その成立のいきさつ、地区の立地条件、慣習と伝統、予算などの制約の中で、社会教育法第二十二条の事業を行うことは、その大部分が望めない実情です。当然、市立公民館で企画せられ、実施せられるであろうこれらの事業に依存して参加し協力するという方向でその効果を享受することに努めるべきでしょう。

部落の公民館が自ら企画し、実行できる事業は、部落内の環境をよくし、住みよい人間関係を育てて、社会的体温を高め、かつ維持するという方向に限られるでしょう。これを項目的に列挙してみますと、

①清掃作業の計画と指導②雰囲気づくりを進める行事の計画実施③人間関係を深める慣習の育成④子どものしつけや遊び方を指導する協力体制づくり⑤防災、防犯の協力体制の援助推進⑥健康増進に役立つ行事の計画と指導⑦不幸な人を助ける隣人愛の育成指導⑧文化教養などの活動グループへの協力などのように、ごく身近いところに活動の分野を求めて、お互いに助け合ってよい慣習を育てるように、地味な努力を積み重ねてゆくべきではないでしょうか。

ややもすると事業というと、予算を組み、日時を決めて行うものと考えられがちですが、部落の公民館としては次のような条件で考えてみるべきでしょう。

(1)余り多くの予算を伴わないこと
(2)みんなが協力し参加できること
(3)特別な指導者を要しないこと
(4)日常生活の中に組みこんでゆけること

以下、私の抱いているいくつかの夢を話すことにしましょう。

以下次号

南国歌壇

瀬戸内の潮耀やく沙弥島に
人麿呂の歌碑はひそくけありぬ　**西野田　吉川定子**

山苺こぼれてむなし坂の道
童子佛に頭巾を結ぶ　**立田　島田美津子**

我が不孝よく叱られし義父の墓
月命日の花ぞたえさず　**下野田　徳久まさみ**

南国俳壇

隙間風仏間に祈る母ゐます　**中村一生**（灯俳句会）
鬼やらひ夫に二つの貌がある　**北村菊女**（〃）
寒椿目礼を喪の言葉とす　**橋本和子**（〃）
計がつづく鉄が鉄切る声発す　**公文政子**（若草句会）
死は事実さんさんと蔭のない冬日　**岡崎美枝**（〃）
蝶となれ菜の花となれ逝きし友　**小松ふみ**（〃）
灯ともして雪の信濃の雛の店　**友永一郎**（柿の実会）
解き初めし芭蕉玉薬のうすみどり　**高石杜伎**（〃）
延び延びになりゐし返書水温む　**井上さえ**（〃）